

質 問



△茂木議員▽

国保病院の看護師不足等について聞きたい。

一、看護師数は4月1日現在何名か。又、

必要な夜勤体制を取るには何名足りないのか。

二、看護師の募集に

問 看護師の確保するための方策は
答 待遇等改善に努め募集している

ついてどのようにしてきたのか。この先どのようにしていくのか。

三、両福祉施設（溪樹園、リハビリセンター）の介護士も不足しているが、現状単身者住宅しか用意されてないため応募者が限られるが。

四、ひとり親世帯の看護師・介護士の託児所、住宅を整備して窓口を広げるようできないか。

五、看護師不足のしわ寄せが看護補助者に行く。待遇を改善する考えはあるか。

六、救急患者の受入について、例えば滝下で患者が出て一度滝上に出てだと一刻を争う場合危険な状態になる恐れがある。他の病院と連携し、直接紋別等の病院に走ることはできないのか。

△三富病院事務長▽

一、三月三十一日現在の看護師総数は20名

で、最低2名の夜勤体制を取るには16名必要です。夜勤可能看護師は16名のところ3月末で4名の退職が予定されており、その分不足ということになります。

△長屋町長▽

二、募集についてはハローワーク、新聞折込、看護協会、看護師紹介所に実施し、待遇面でも准看護師の年俸アップや諸手当の支給等改善を図り募集している。これからは転職求人サイトを使い全国展開を図って行きたい。

三、四、両施設で子どもを預けなければならぬニーズがあるか。聴き取りをしたところ、リハビリセンターは保育の希望はない、溪樹園も問題は料金だという答えがあつた。ただ、預かり保育に関する様々な事業については今後検討していきたい。

住宅については、今まで幸町のモナルダハイツ2戸を単身者用と、単身でない方のために2戸使えるように準備している。今後も幸町のモナルダハイツは4戸を看護師専用として考えている。両施設の住宅整備も考えている。

五、看護師と看護補助者の職務内容は違う。補助者の待遇改善は考えていない。

六、今の段階では町立病院に一度入って医師の診断を受け提携先に搬送するのが基本。状態によってドクタヘリ（26年5回）や救急車で旭川日赤に搬送している実績もかなりある。

△茂木議員▽

看護師の募集で実際にやったことは実を結んでいない。住民の皆さんも大変不安に思っている。もっと早くから動いて欲しかった。住宅もモナルダ3だけでは足りない。両施設の単身者住宅ももう少し

欲しいと聞いている。古い住宅だと魅力に乏しい。

△長屋町長▽

全道的に看護師不足で都市部の病院に集中している制度上の背景があるが、改善を図りながら引き続き募集していきたい。両施設の住宅も時代の流れでやむを得ない。今の若い人たちの希望に添うように今後整備していく必要がある。